

# 福岡赤十字病院外来診察担当医一覧表

○新患及び再来 ●予約のみ ▲午後再来(予約のみ) ※再来は原則予約制です

科別	氏名	月	火	水	木	金	専門分野・備考	職名
総合診療科	川本 徹 総診当番医師① 総診当番医師②	○	○	○	○	○	内科一般 ※当番医: 内科系医師による交替制	副部長
消化器内科	青柳 邦彦 平川 克哉 工藤 哲司 冬野 雄太 押領司祐貴子 内海 懇志 中尾 濵 樋口 裕紀 非常勤医師	○	▲	○	▲	○	消化管 (食道、胃、小腸、大腸)	院長補佐 副院長 副部長
肝臓内科	西澤 新也 石下 弘之 東 具隆 木野 智博	○	○	○	○	○	肝・胆・脾疾患一般	部長 副部長
腎臓内科	徳本 正憲 中井 健太郎 中川 兼康 原 雅俊 井上 めぐみ 水戸 実希 大賀 健司 奥 美裕	▲	○	○	○	○	腎臓	部長 副部長
糖尿病・代謝・内分泌内科	佐々木 伸浩 井元 博文 於久 真由美 東木 孝太 西崎 愛佳 糖尿病担当医師 内分泌担当医師 中川 瑞穂	○	▲	○	○	○	糖尿病、代謝、内分泌、生活習慣病 ※内分泌新患は火・水・金のみ	部長 副部長
循環器内科	向井 靖 松川 龍二 松浦 広英 小河 清寛 徳留 正毅 河合 俊輔 岡原 有秀 岡部 皓祐 佐田 政司 木佐貫 洋志 原 彰乃 古賀 瑛一 糸長 潤平	○	○	○	▲	○	循環器	部長 副部長 副部長
高血圧内科	大坪 俊夫 中垣 憲明 木村 信一 鶴尾 康圭 安藤 裕之 櫻井 優子	○	○	○	○	○	高血圧	部長 部長
呼吸器内科	谷本 一樹 平安山 英穂 河野 一郎 次郎丸 高志	○	○	○	○	○	呼吸器一般	部長 部長
血液・腫瘍内科	北山 次郎 織方 利安 岡田 卓也 中島 弘淳 金沢 信 井上 靖 田中 淳 齋藤 錠晴	○	▲	○	○	○	血液疾患一般 固形腫瘍の化学療法	部長 部長 部長
脳神経内科	石丸 敏之 藤吉 直子 大石 涼	○	○	○	▲	○	神経一般 ※金は午後のみ(13時~15時受付)	副院長
膠原病内科	中房 祐司 永井 英司 本山 健太郎 小島 雅之 上田 純 井上 重隆 小倉 康裕 三好 圭	○	○	○	▲	○	神経一般 神経一般	院長 副院長 副院長 部長 部長 部長 部長 部長
感染症内科	亀田 千津 安井 隆晴 寺坂 壮史 松田 圭央 服部 正見 松永 壮人 森 睦美 中島 陽平 太田 耕二 花 朱梨 長澤 廉成 山崎 草生	○	○	○	▲	○	感染症一般 ※金は午後のみ(13時~15時受付) 緩和ケア	副院長 副院長 副院長 副院長 副院長 副院長 副院長 副院長 副院長 副院長 副院長 副院長 副院長 副院長 副院長 副院長 副院長 副院長
(緩和)	窪 仁 吉岡 労 湧田 尚樹 入江 由希乃	○	○	○	▲	○	緩和ケア 脳梗塞 脳血管障害(脳卒中) ※水は手術日です	副部長 副部長 副部長 副部長
心臓血管外科	富本 和幸 中田 悠介	○	○	○	▲	○	心臓外科、大動脈瘤 血管外科 ※火・木のみ	副部長 副部長
脳神経外科	継 仁 吉岡 労 湧田 尚樹 入江 由希乃	○	○	○	▲	○	脳梗塞 脳血管障害(脳卒中) ※水は手術日です	副部長 副部長 副部長 副部長

●受付時間 8時10分~11時00分 (診療開始 8時40分)

※診療科の備考欄に特に記載のない場合に限ります。

●急患診療体制

※救急車や医療機関からの紹介患者の受入れは、24時間体制で対応いたします。

内科系	平 日	17時00分~23時00分 土・日・祝日 8時30分~23時00分
小児科	平日(祝日除く)	17時00分~19時30分 土(祝日除く) 9時00分~17時00分

●休診日 土・日・祝・年末年始 (12/29 ~ 1/3)

※出張等で休診する場合がありますので、事前に各診療科にお尋ねください。

☎0570-03-1211



福岡赤十字病院

日本赤十字社

福岡赤十字病院 広報誌

Cross Heart 春号 vol.55

病院管理者 【院長】中房祐司 【副院長】泊眞一 永井英司・石丸敏之・平川克哉 【事務部長】平田秀政 【看護部長】佐藤章子  
2023年4月発行(第55号)福岡赤十字病院総務課 TEL815-5555 福岡県福岡市南区大楠3丁目1番1号

<https://www.fukuoka-med.jrc.or.jp/>

## 病院の理念

信頼と調和に基づく最良の医療  
～地域を尊重、世界を視野に～

## 基本方針

- 質の高い安全な医療
- 救急医療
- 国内外の医療救援活動
- 地域連携
- 教育・研修・研鑽
- 患者・職員満足度の向上



Cross Heart  
春号 vol.55

Japanese Red Cross Fukuoka Hospital  
福岡赤十字病院 広報誌

2023. 4 春号

vol.55

## 診療科紹介

# 今回は泌尿器科をご紹介します！

泌尿器科では5名の医師で診療にあたっており、うち2名は泌尿器科指導医、腹腔鏡技術認定医、ロボット手術者認定を、1名はロボット手術プロフェッショナル認定を取得しています。

尿路結石やそれに伴う尿路感染症の患者さんが多数受診され、また救急搬送される方も多いことから、腎尿管結石の手術は毎年100件を超えて実施しています。高齢男性に多い前立腺肥大症に関連した排尿障害については、内科的治療を基本としますが、投薬で症状の改善されない方にはレーザー手術を短期間の入院で実施しています。



### 主な検査と手術実績（2022年）

- 前立腺生検 ..... 156件
- 前立腺肥大症 レーザー手術 ..... 23件
- 腎尿管結石 経尿道的碎石手術(TUL) ..... 111件
- 腎がん 腹腔鏡手術(腎摘除) ..... 19件
- 腎がん ロボット手術(腎部分切除) ..... 15件
- 腎盂尿管がん 腹腔鏡手術 ..... 9件
- 膀胱がん 経尿道的手術(TURBT) ..... 102件
- 膀胱がん 腹腔鏡手術(全摘) ..... 10件
- 前立腺がん ロボット手術(全摘) ..... 31件



腎がん、膀胱がん、前立腺がんの患者さんも多く、適応を十分に判断してできるだけ低侵襲な手術を行うようにしています。日本では泌尿器科悪性腫瘍に対して行う手術のほとんどを公的保険のもと腹腔鏡やロボット支援で実施できるようになりました。当院では2018年の手術支援ロボットの導入以来、前立腺がんの全摘手術、腎がんの腎部分切除術に対してロボット手術を行なってきましたが、2023年4月より膀胱がんの全摘手術についてもロボット手術を開始し、さらなる低侵襲化を図ることとしています。

# 低侵襲手術センター

Minimally Invasive Surgery Center



**da Vinci Xi**  
SURGICAL SYSTEM



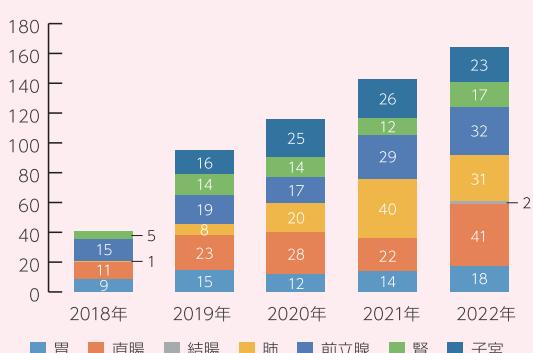
### センター長

外科 副院長 | 永井 英司



手術は必要な治療ではありますが、患者さんにとって身体的に大きな負担となります。その負担を少しでも軽減する事を目標に2018年4月低侵襲手術センターを開設し、手術支援ロボット・ダビンチXiを導入しました。2022年末までに胃癌、大腸癌、肺癌、前立腺癌、腎癌、子宮体癌を対象に559例の実績を積み重ねてきました。この経験を基に今後も患者さん第一の治療を行って参ります。

### ロボット支援下手術症例数



### 副センター長

泌尿器科 部長 | 清島 圭二郎



泌尿器科では、ほぼ全ての悪性腫瘍に対する手術がロボット手術の保険適応となりました。これからロボット手術の普及はさらに加速します。当科でも適応を吟味し、新規術式を安全に導入していきます。

産婦人科 部長 | 西田 真



当科手術（産科手術・経腔手術以外）の約7割は低侵襲手術で、2022年は腹腔鏡が301例、ダビンチ手術が23例でした。ダビンチ手術は2019年から良性疾患に対して子宮全摘術を行っていますが、今後は執刀医資格取得者をさらに増やして、症例数の増加および悪性腫瘍への適応拡大を進めていきたいと考えています。

呼吸器外科 部長 | 小島 雅之



肺癌治療でもダビンチを用いたロボット支援下手術を積極的に行っております。昨年の手術件数は30例で胸腔鏡下に行っていた手術のほとんどがダビンチ手術になりました。体への負担が少なく入院も短期間であり、患者さんに大変喜ばれております。

消化器外科 部長 | 井上 重隆



2018年から直腸のほとんどをロボットの支援下で行っています。肛門に近づくにつれ手術の難度が高い症例が増える中、安定した視野や手ぶれのない操作に優れたロボットの長所を生かすことができます。2022年からは結腸癌に対しても保険適応が認められ、ロボット手術の範囲が拡大しました。

# “医療を支える医療技術部門”

今回は、薬剤部をご紹介します！



薬剤部は「くすりの専門家として責任ある薬物療法を提供する」をモットーに、入院から退院まで患者さんが安心して薬物治療を受けられるようサポートしています。

患者さんが普段飲んでいる薬の中で“血をサラサラにする”抗血栓薬は、血が止まりにくくなり、術後の出血を合併することがあります。

手術が予定される患者さんには、患者サポートセンターで入院前に薬剤師が抗血栓薬の服用を確認し、主治医、看護師と連携して適切な期間中止できるよう確認、説明を行っています。

## 入院時

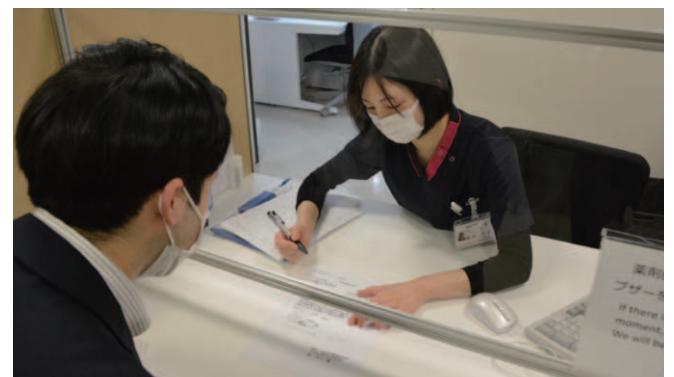
入院後はすべての患者さんの服用している薬を確認します。手術のために入院された患者さんに対しては、患者サポートセンターでの説明通りに、中止すべき薬が適正な期間中止できていたかの確認を行い、手術の準備をサポートします。

## 退院時

退院時は手術のために中止していた薬が再開できるかを確認し、最後までサポートします。当院では“入院前の薬の中止”から“退院時の薬の再開”までを一元管理できるシステムが構築されており、安心安全な薬物療法の提供を心掛けています。

日本人の約4割は何らかの薬を服用しており、さらに65歳以上の4人に1人は5種類以上の薬を飲んでいます。そのため薬の確認は安全な医療の提供には不可欠です。我々薬剤師は、患者さん一人ひとりに寄り添い、信頼していただけるよう努めています。

\*薬の中止、再開は自己判断ではなく医師の指示を守ってください。



### 専門・認定資格一覧

- 医療薬学専門薬剤師研修施設
- がん専門薬剤師研修施設
- 薬物療法専門薬剤師研修認定施設

### 認定・専門資格 認定者数

- 日本医療薬学会 医療薬学指導薬剤師 ..... 1名
- 日本病院薬剤師会 HIV感染症専門薬剤師 ..... 1名
- がん薬物療法認定薬剤師 ..... 2名
- 日病薬病院薬学認定薬剤師 ..... 18名
- 日病薬認定指導薬剤師(実務実習) ..... 1名
- 日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師 ..... 1名
- 日本腎臓病薬物療法学会 腎臓病薬物療法認定薬剤師 ..... 2名
- 腎臓病療養指導 ..... 1名
- 日本緩和医療薬学会 緩和薬物療法認定薬剤師 ..... 1名
- 日本化学療法学会 抗菌化学療法認定薬剤師 ..... 1名
- 日本臨床薬理学会 認定CRC ..... 1名
- 日本臨床栄養代謝学会 NST専門療法士 ..... 4名
- 日本臨床薬剤師研修センター 認定実務実習指導薬剤師 ..... 4名
- 日本糖尿病療養指導士 ..... 1名
- 福岡県糖尿病療養士 ..... 4名
- 日本循環器学会 心不全療養指導士 ..... 1名
- 日本 DMAT 隊員 ..... 2名

2023年2月1日現在



## 退任のご挨拶



統括 副院長  
青柳 邦彦



統括診療 部長  
小江 雅弘



呼吸器内科 部長  
古山 和人



耳鼻咽喉科 部長  
若崎 高裕

2016年に赴任した際には、23年ぶりの福岡赤十字病院がモダンできれいな建物と広い駐車場に大変身していることにとても驚いたことを覚えています。また、診療科も増え、ほぼすべての疾患領域をカバーできるようになっていました。

消化器内科を専門としていますので、内視鏡を中心とした診療に従事し、新しい手技や考え方を導入しました。副院長としては、連携、外来、救急、医療安全、倫理、保険診療、診療材料、薬事、治験など多くの病院の管理業務に携わり、微力ながら病院の発展に貢献できたと感じています。2019年からは地域医療連携室長として病診・病病連携さらに病床管理に従事し、患者さんおよび地域の医療機関からのニーズに応えるべく奮闘してきました。実際、当院には様々なスペシャリストが揃っております、安心 安全な医療を提供できていると考えています。連携を通じては地域の先生方には大変お世話になりました。

皆様の多大なるご協力のもとに感謝するとともに、引き続き、福岡赤十字病院をよろしくお願い申し上げます。

2019年4月赴任、心臓血管外科部長を拝命し4年が経過しましたが、この度2023年3月をもって定年退職となりました。手術症例数の増加を目指しましたが、スタッフ数減や2020年1月からのコロナ禍のためか、それまでの8割程度で推移していました。地域医療支援病院として、救急を含め数多くの患者さんを紹介頂き、可能な限り対応させて頂いたつもりですが、残念な結果や他院へ手術紹介せざるを得ない症例がありましたことをお詫び申し上げます。心臓血管外科の医療圏では九大病院・福大病院・済生会病院に囲まれていますが、南区の中核施設として地域の先生方のニーズに応えられるチーム作りを次に引き継ぎたいと思います。

個人的には外科医を引退しますが、統括診療部長として病院経営・管理の一端を経験させて頂いたことなどを今後の医師活動に生かしていかなければと考えております。在職中のご厚情に感謝申し上げ、ご挨拶とさせて頂きたいと存じます。

この度、2023年3月末をもって退職することとなりました。福岡赤十字病院に赴任して1年という短い期間でしたが、当院では大変貴重な体験をさせて頂いたと思っております。1年間、いろいろな場面で支えて頂いた当院の医療スタッフには非常に感謝しています。

今年度からまた新たな体制に変わりますが、これまでと変わりなく、地域の皆様にはご協力をお願いしたいと存じます。

今後も、福岡市近辺で勤務することもあるかと思いますので、その際にはどうぞよろしくお願い致します。

このたび、福岡赤十字病院耳鼻咽喉科部長を退任させていただくこととなりました。2022年4月に当院に赴任後、短い期間での退任となり、申し訳なく感じております。私の専門とする頭頸部悪性腫瘍の積極的な治療は多くはありませんでしたが、それぞれの患者さんには一生懸命診療させていただきました。他科と連携する疾患もありましたが、各診療科が協力的で非常に働きやすい環境で診療を行うことができました。高齢者をはじめとした多くの疾患を抱えた患者さんを総合的にみれるのは福岡赤十字病院の強みで、よい経験を積むことができました。私は、4月以降は先輩医師のいる近畿大学病院で診療することとなりました。来年以降の患者さんに向け、当院での経験を活かしていきたいと思っています。この一年間、大変お世話になりました。

4月以降は、高岩部長を中心に周辺地域の患者さんの診療を行います。どうぞよろしくお願いいたします。

## 就任のご挨拶



耳鼻咽喉科 部長  
若崎 高裕



小児科 部長  
山口 賢一郎

令和5年4月より耳鼻咽喉科部長を拝命致しました高岩一貴です。平成29年4月に当院に赴任して5年目になります。当科は平成29年より診療を再開しておりますが、昨年からは5人体制で診療に臨めるようになりました。

当科への患者様のご紹介は、福岡市南区は勿論のこと市内全域から多く頂戴しておりますが、近年は唐津市や春日市、久留米市からもご紹介戴けるようになりました。おかげさまで昨年度は手術数が250を超えるまでになりました。

これからも皆さまに信頼していただけるよう耳鼻咽喉科スタッフ一同精進いたしますのでご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

本年度より小児科部長を拝命いたしました、山口賢一郎です。

小児循環器を専門とし、小児循環器専門医を取得しています。從来から川崎病などにつきまして地域の先生方から多くの紹介をいただいておりますが、先天性心疾患や不整脈、心筋疾患などにつきましてこれまで以上に広く対応していきたいと考えております。残念ながら、当院では集中治療や手術が必要なお子さんの入院治療管理は困難ではありますが、心疾患の診断や検診異常の精査、あるいは手術が必要な場合でも九大病院や福岡市立こども病院などと連携して、術前術後の外来管理など当院が貢献できる部分は大きいと思います。

特に新生児につきましては、時に早期の治療介入が必要となる例もありますので、外来日以外でも柔軟に対応してまいります。一旦当院で診断を確定させて、必要な処置を行なってから高次病院へ搬送することも可能ですので、お気軽にご相談ください。よろしくお願いいたします。

Greetings of moving

## 地域医療連携Webセミナー

地域医療支援病院として地域へ向けて情報を発信することを目的に、昨年12月から地域医療連携Webセミナーを開催しています。

本セミナーは原則月に2回、第2・第4金曜日の18:30から配信しています。

各診療科から診療紹介、症例報告、最新のトピックスなど様々な情報を発信していますので是非ご視聴ください。

なお、本年4月から当セミナーは日本医師会生涯教育講座として認定されています。(0.5単位)

今後は下記の各診療科から  
情報発信予定です。

5/12(金)	肝臓内科	西澤 新也
5/26(金)	形成外科	前場 崇宏
6/ 9(金)	糖尿病内科	佐々木 伸浩
6/23(金)	産婦人科	西田 真



### Webセミナー参加事前登録方法

- 1 下記QRコードから医療機関名、氏名、メールアドレス等をご登録ください。
- 2 Webセミナー開催前日までに案内メールをお送りします。
- 3 登録後は、セミナー情報についてメールで定期的にお知らせします。

事前登録は  
コチラから



担当 地域医療連携室

## たけのこご飯



### 材料 (4人分)

米 ..... 2合  
茹で筍 ..... 150g  
油あげ ..... 1/2枚  
だし汁 ..... 300mL  
醤油 ..... 大さじ2・1/2  
みりん ..... 大さじ2・1/2  
木の芽 ..... 少量

### 作り方

- ①米を研ぎ、ザルにあげて、30分程度水けを切る。
- ②茹でた筍は食べやすい大きさに切る。※柔らかい穂先=繊維にそって5mm幅に縦に切る。  
硬い根元=繊維を断つように5mm幅のイチョウ切り
- ③油あげはみじん切りにする(細い千切りでも可)。
- ④炊飯器に、米、だし汁、醤油、みりんを入れて混ぜる。
- ⑤筍、油あげを入れて炊く。
- ⑥炊きあがり、しゃもじでかき混ぜる。
- ⑦器に盛り付け、木の芽を散らせば、出来上がり。

## 筍の土佐煮



### 材料 (4人分)

茹で筍 ..... 400g  
だし汁 ..... 2カップ  
酒 ..... 大さじ2  
砂糖 ..... 大さじ2  
みりん ..... 大さじ2  
醤油 ..... 大さじ3  
かつお節 ..... 10g

### 作り方

- ①筍は食べやすい大きさに切る(半月切り、イチョウ切り)。
- ②だし汁、酒、砂糖、みりん、醤油をあわせて煮立て、煮立ったら筍を加える。
- ③弱めの中火で、おとし蓋をして、汁けがなくなるまで煮る(20分程度)。
- ④火を止めてかつお節を加え、混ぜると出来上がり。  
時間があるときは、火からはずし1時間以上おき、もう一度ひと煮立ちさせるとよく味がします。

■カリウムはナトリウムを身体の外に出しやすくなる作用があるため、塩分の摂り過ぎを調整するのに役立ちます。

■不溶性食物繊維は、腸内で水分を含んで膨らみ、お腹の中で便のカサを増やします。便のカサが増えことで腸が刺激され、便通改善・便秘改善の効果が期待出来ます。



## 地域とともに! 登録医紹介

当院の基本理念である「信頼と調和に基づく最良の医療～地域を尊重、世界を視野に」を行うための心強いパートナーとなる登録医の先生方をご紹介します。

## 植木外科クリニック

### Q 現在までの経緯

1983年から25年間佐田病院で外科医として勤務したのちに2007年10月2日に福岡市中央区白金にて外科手術のできる有床(10床)診療所を開院しました。胃癌、大腸癌、胆囊結石症、気胸、鼠径ヘルニア、痔核等の手術を多数手がけました。

2021年5月からは無床診療所として再スタートしています。

### Q 当クリニックの強み/特徴

当院には高性能の80列160スライスCTスキャナを設置しています。この装置では従来よりも短時間で広範囲の撮影が行え、頭部・胸部・腹部疾患にいたるまで、全身の診断が可能です。読影センターと連携しており結果が即日にわかりますので近隣の先生方にもお役に立てると思います。

胃・大腸内視鏡検査は鎮静剤を用いて楽に検査を受けられます。病気を早期に発見し、必要に応じて専門医療機関に紹介していますが、中でも福岡赤十字病院にはいつも迅速に患者様を受け入れて頂き、治療経過は詳細な診療情報提供書で報告して頂けますので安心して紹介することができます。この場をお借りして深謝申し上げます。

他にも内視鏡の大腸ポリープ切除や痔核の日帰り手術やドック検査・健診にも力を入れています。

### Q 専門分野

外科・胃腸科・消化器科・呼吸器科・肛門科

### Q 診療のモットー

患者様に寄り添い、優しい対応、丁寧な説明を行い、患者様ご自身が納得できるあたたかい医療を提供することです。

### Q 地域の方々へのメッセージ

今までに積み重ねてきました外科医としての経験、実績を生かし、外科的疾患はもとよりかかりつけ医として高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病の治療や健康診断等を行っています。皆様に信頼され、選んでいただけるクリニックとなるようにあたたかい医療をスタッフ一同で提供致します。また私の専門外の疾患についても他の医療機関をご紹介できますのでお気軽にお相談ください。



院長 植木 敏幸 先生  
住所 810-0012 福岡市中央区白金2-11-9  
CR福岡ビル

TEL 092-534-5200  
診療内容 外科・胃腸科・消化器科・呼吸器科・肛門科  
診療時間 9:00~12:30, 14:00~18:00  
休診日 水曜午後、土曜午後、日曜祝日



## 竹内皮膚科泌尿器科医院

### Q 当クリニックの強み/特徴

院長(私)は日本泌尿器科学会専門医ですが、皮膚科・泌尿器科の両科で研修したことをおかして当院での診療を行っています。

### Q 専門分野

日本泌尿器科学会、日本皮膚科学会以外に日本抗加齢医学会(専門医)、日本レーザー医学会、日本メンズヘルス医学会に所属し、皮膚と泌尿器のアンチエイジングに力を入れています。



院長 竹内 俊夫 先生

住所 815-0033 福岡市南区大橋1丁目15-5

TEL 092-551-0966

診療内容 皮膚科・泌尿器科・美容皮膚科

診療時間 平日 9:00~12:00, 14:00~18:00

土曜 8:30~12:00

休診日 木曜午後、土曜午後、日曜祝日

